



荒川区の歴史とプルトニウム

都立産技高専名誉教授 吉田喜一

約500万年前、サルの前足を手にして直立二足歩行になり人類が生まれました。その手が道具を作って、そして使い有な生産物を造りだしました。我々の祖先の新人（ホモ・サピエンス）は約10万年前誕生し、アフリカを発つたとされています。考古学の書物によると日本には約4万年前に到達したようです。それ以後約1万年前まで日本の旧石器時代を形成しました。南千住のふるさと文化館の資料によると、荒川区に人類は2〜3万年前に到達したとされています。

約1万年前から日本は縄文時代になります。西日暮里4丁目の道灌山遺跡は7000年前とのことです。西日暮里3丁目の夕焼けだんだんのそばから4000年前の延命院貝塚が発掘されています。2700年前から弥生時代になりますが、その遺跡も道灌山から発掘

されています。古墳時代の遺跡も見られています。荒川区は数万年前の旧石器時代からの歴史を持つていることになりました。

ところで、原子力発電所の使用済み核燃料のプルトニウムの半減期は2万4000年です。放射能が半分に減るのに荒川区の歴史と同じくらいの時間がかかるわけです。半分の半分（つまり四分の一）に減るためには約5万年かかる計算になります。危険極まりない放射能が四分の一に減るのに旧石器時代から現代までの途方もない時間がかかるわけです。原発は人類を含めて生物と共存できず、倫理的に許されない技術です。

いま反原発の官邸前行動が毎週金曜日の夜に行われています。最初数百人規模でしたが、今は数万人、十数万人になっています。50万人、100万人になるだろうと言われています。官邸前だけでなく全国各地で連帯の行動が盛り上がっています。巨大マスメディアはほとんど無視をしています。東京新聞はきちんと報道してくれて、たいへん敬意を表する次第です。今こそ原発ゼロ、自然エネルギー促進の運動を強める時だと思います。我々の運動が人類の新しい技術史を切り拓きます。



電気について、最近私が思うこと

こんにちは。南千住5丁目・メガネのサトウ4代目です。はじめに、本年7・8月に実施しました、節電対策「エコ営業（Ⅱ一部の曜日について、朝晩の営業時間を拡大し、代わりに暑さが厳しく、エアコンの負荷が増える午後の時間帯の営業を休止致しました。）」に、皆さまのご協力を頂きましたことに感謝申し上げます。おかげさまで、昨年よりも月間の伝票当たりで6%、使用日数の違いを考慮し割り算で求めた1日当たり使用量では15%もの節電を行うことができました。

24年 8月分	ご利用期間	7月27日～8月21日
	検針月日	8月23日（132日曜）
ご使用量		419kWh
		450kWhです。
		昨年8月分は29日間で、
		今日分は昨年と比べ、6%減少しています。

この9月から、私達の住む東京電力管内では電気料金の値上げが行われています。夫婦十子供二人、50アンペア契約のモデル家庭で、年間1万円超の負担増と言われており、頭の痛いところ。当店でも、最初に触れた「エコ営業」の他、照明の省エネLED電球への交換や、間引き点灯など節電に取り組み、更に契約アンペアを一段階落とすなど、値上げに備えてきました。皆さまのお宅でも、節電に苦心されていることと思います。

今回の料金値上げは、東電管内の原発が全て停止したことにより、火力発電への依存が強まっています。柏崎刈羽原発が来年度以降再稼働できない場合は、更なる値上げもあり得ると言

われています。一方、政府は、今のところは具体的なエネルギー政策を見いだせておらず、2030年代に原発ゼロの目標を盛り込んだ戦略だけを先頃発表しましたが、経済界・産業界こそって猛反対を唱えています。

私は、福島原発事故の十分な検証が行われ、既存の原発に安全対策の向上や危機管理体制が整った時点で、福島以外の原発を一定期間再稼働するのは（現実的に）やむを得ないと思います。しかし、どこぞの経済団体や一部のマスコミのように、何が何でも原発ゼロは反対！と声高に主張するのはとんでもない愚行です。ふるさとを追われ、解決策の見えない福島の問題を忘れ、行き場のない放射性廃棄物の問題を無視するつもりなのでしょうか？

昔、パスすることが不可能とまで言われたアメリカの自動車排ガス規制法が施行されるに当たって、日本のある自動車メーカーは研究に研究を重ね、世界で最初にクリアしたエンジンを開発しました。「原発ゼロなんて、絶対不可能だ！」と決めつけずに、高い壁に果敢に挑むことで、更なる省エネの技術や、新エネルギーの研究開発と普及が促進され、陰りの見える「技術立国ニッポン」の地位を、結果として再び高めることにもつながると思うのです。



【消費生活アドバイザー】
佐藤 祐一郎

◆メガネのサトウ◆

南千住5丁目43の13【コッ通り】
TEL 03(3806)4930

★休業日のごあんない★（※不定休です）

9月：25（火）
10月：10（水）・16（火）・22（月）・30（火）

★営業時間のご案内★

月～金：AM 9時30分～PM 7時
土・日・祝日：AM 10時30分～PM 6時